



2018年度事業報告

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 安藤ビル3F

TEL:03-6321-8948

Email:info@ftcj.com URL:<http://www.ftcj.com>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
2018年度事業報告
2018年1月1日～2018年12月31日まで

1. 2018年度 事業を実施して

2018年度のハイライトは、前年度に決定した2020年までの3年間で重点的に取り組むべき事業と目標に沿って、具体的な活動に落とし込んで事業に取り組んだことで、新たな組織や個人の方々と出会い繋がれたことです。そういった新たな連携を通じて、カナダのフリー・ザ・チルドレンが2007年にトロントで始めた“WE Day”を2020年以降に日本で開催できるよう、学校などで子どもが社会問題を知り、それに対してアクションを起こしていくことをすすめる教育プログラム“WE Schools”の開発と、WE Dayへの準備をすすめることができました。特に、鳥取城北高校と繋がり連携できたことで、WE Schoolsの授業モデルを実践するなどできました。

重点事業の一つ、子どもが主体的に社会課題に対して向き合えるような機会の創出を強化するために、スタディツアーや、キャンプの運営、出張授業活動に注力し、新たにその担当として福井雄一を7月より専従職員として迎えました。

また、国内で障害者支援に取り組む様々な組織や活動家の方と知り合い、ご協力を得たおかげで、2016年から開始した「フィリピン障害者支援事業」や、「共生社会推進事業」として、フィリピンから視覚障害者の高校生5人を招聘し、活動家として育成する取り組みを実施することができました。

更に、団体設立初期から活動にご協力下さっている桃山学院高校の元校長で現一般社団法人OSAKAあかるクラブ理事長の温井史郎先生の紹介で、「東京グレートサンタラン」という新しいイベントの運営に団体として関わることができ、イベントの企画に子どもやユースメンバーが関わる機会を頂いたり、団体が支援するケニアの農村貧困地域の子どもの医療事業に向けた資金調達に取り組んだりすることができました。この東京グレートサンタランを通じて、普段なかなか知り合うことができない、イベント運営のプロフェッショナルな方々と知り合うことができ、多くの学びがありました。

2018年度を通じて本当に多くの出会いがありました。知り合うことができました様々な方面の専門家や組織の皆様との関係を大切に、そういった方々からの学びを活かしながら、更により良い活動と組織運営に従事していきたいと思いました。

改めて、活動にご協力くださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。
持続可能なより良い社会の実現に向け、今後も引き続きどうぞ宜しくお願い致します。

代表理事 中島早苗

2. 2018年度 事業活動報告

1) 子ども主体事業

◆事業の目的と役割・活動内容

子ども達が自ら世界の子どもの権利を守るため、主体的に活動する機会提供

【活動ご協力のご紹介】

◆活動協力:株式会社 千鳥屋(チョコレートプロジェクト)

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
FTCJアンバサダー(旧子ども代表委員)	今年度より、アンバサダーに名称変更。夏のキャンプ参加者から立候補を募り、他の参加者から承認を得て就任。子どもメンバーの代表として各地での活動に積極的に参加。また、コラムの執筆などを行った。	通年	全国	9人	-
チーム活動	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営・企画サポートを実施。 【活動チーム】 フィリピンチーム(チョコレートプロジェクト) スピーカーチーム フェアトレードチーム	通年	主に事務所	チーム所属 20人	505

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割・活動内容

- 国内の子どもが、世界の開発途上国でみられる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力:三菱UFJ国際財団、子どもゆめ基金

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
子ども活動家育成	FTCカナダが行うTake Action Camp(夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。 今年度から、語学教育機関のEFと共同プログラムを実施し、前半1週間はトロント市内の語学学校に通学し英語学習、後半1週間はキャンプに参加する2週間プログラムの実施を開始した。	7/29 ~8/13	EF Toronto /Toronto 校外 Me to We Leadership Centre	9人	2268
	Take Action Camp Japanの企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ合宿型ワークショップ。 今年度初めてのクリスマスキャンプを開催した。 夏はゲストスピーカーとしてベナンからソーシャルビジネスの現地マネージャー、またフィリピンから視覚障害者リーダーを招致。 春/夏は4泊5日、クリスマスは2泊3日で実施。	3/27~ 31 8/16~ 21 12/25~ 27	千葉県立東 金青年の家 /国立中央 青少年交流 の家/川崎 市青少年の 家	75人 (+大学生32人)	3882
メンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。ウェルカムデーを毎月2回開催。 1月には同窓会イベントWeunionDay2018を実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	216
	学校や地域のグループ活動のサポートの実施。	通年	主に事務所	全国のメンバー 1,500人	304

<スタディーツアー支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
フィリピンスタディーツアー	日本の子どもや若者などが、FTCJが支援するフィリピンの事業地や歴史的地域を訪問し、行政や民間の働きを見学したり、子どもや地域の人々との交流やボランティアを通じて、現地の状況を多角的に学び、国際協力として自身には何ができるかを考える機会を提供。ノートルダム女学院高校フィリピン研修(2月)、FTCJスタディーツアー(3月下旬)	2月~4月	フィリピンルソン島サンバレス州オロンガボ周辺及びマニラ首都圏	26人	1,800
インド・スタディーツアー	夏休みに、インドの支援先のラジャスタン州や観光地域を訪問し、現地の子どもや地域の人々との交流、ボランティア活動を行うツアーを実施し、貧困の中で生きる子どもの現状や村の自立に向けて学び、日本にいる私たちに何ができるかを考えるツアー。帰国後に報告書作成や報告会を通じて、現地の様子を伝える活動を行った。	8月8日~15日	インドデリー、アグラ、ラジャスタン州	12人	1,350

3) 外部ネットワーク

◆事業の目的と役割・活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働しFTCJのビジョン、ゴールを実現することを目指す。

<2018年度参加・構築したネットワーク>

・JNNE(教育協力NGOネットワーク):開発途上国の子どもへの教育支援を行っているNGOによるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施、外務省との意見交換や政策提言などを行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーンにも2017年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し世界のEFA(万人のための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。

・児童労働ネットワーク(CLネット):児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組むNGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJは運営委員団体として参加。

・その他非営利組織への会員登録や他団体との協力

より良い事業運営のためJANIC(国際協力NGOセンター)、DEAR(開発教育協会)などのネットワークに参加しました。

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
JNNE/ 世界中の子どもに 教育をキャンペーン	4月14日～6月30日にかけて途上国の教育の現状や教育援助の不足について学ぶ授業が実施され、47都道府県の583校・グループ、5,118人が参加した。	4月～6月	全国	5118人	226
	6月6日、衆議院第一議員会館で、9年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催した。当団体のメンバーの高校生7名が「先生」、国会議員24名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。	4月～7月	東京	高校生7名、 国会議員24名	553
	8月13日、JNNEのメンバーと中・高校生は外務省で、松浦博司NGO担当大使(国際協力局審議官地球規模課題担当)と面会し、全国の「世界一大きな授業」参加者から寄せられた「首相・外務大臣への手紙」を手渡し、途上国の子どもたちへの教育援助増額を申し入れました。また、2019年にはG20が日本で開かれ、政府と市民社会・NGOとでしっかりと教育の問題をアピールしていきましょうと話しました。	4月～7月	東京	高校生2名 NGO大使1名	130
CLネット	5月5日～7月15日にかけて「ストップ!児童労働キャンペーン2018」を開催。情報発信はFacebookやTwitter等のSNSを中心に行った。また、レッドカードを掲げて写真を撮影し、同時にアクションを表明する「レッドカード+1アクション」と名称を変え参加を呼びかけ、参加者は5,405人となった。368枚の写真がTwitter、Facebook、Instagram等のSNSを通して日本全国から投稿があった。	5月-7月	全国	5,405人	120
	3月上旬から6月末まで日本政府へ児童労働問題に対する取り組み強化を要請するため、ストップ!児童労働50万人署名～児童労働のない、2020東京オリンピック・パラリンピックに～を実施。72万3,619筆が集まった。	5月13日～17日	東京	72万3,619人	120
	児童労働問題解決に向け、政府・企業・市民社会がどのように取り組むべきか検討するため研究会を実施しました。	7/20 12/7	東京 大阪	40	70

4) アドボカシー事業

◆事業の目的と役割・活動内容

目的:国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。

主に関東と関西で事業を展開しています。

内容:ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販、イベント実施、スピーカー派遣など

1) スピーカー派遣・ワークショップ及びイベント実施活動

・114回実施、73か所訪問

・参加・対象人数:8,948人

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
1月10日	AIECEC 上智大学・早稲田大学	東京都	6	ファシリテーション &コミュニケーション講座
1月11日	明治学院大学	東京都	80	児童労働問題 今私たちにできること
1月15日	青森県立野辺地高等学校	青森県	88	児童労働とその背景の国際問題
2月7日	桐朋小学校	東京都	78	世界の貧困問題 わたしにできること
2月9日	立川市立砂川小学校	東京都	110	オリパラ教育 国際理解 世界の問題・わたしにできること
2月9日	北杜市立泉中学校	山梨県	120	共生社会 今わたしにできること
2月14日	イー・エフ・エデュケーション・ ファースト・ジャパン株式会社	東京都	40	団体活動紹介 子どもが世界を変える!
2月16日	お茶の水女子大学附属中学校	東京都	120	世界の子とも達と貧困 アクションを考える
2月16日	関東学院六浦中学校	神奈川県	116	私たちが行動できる! 社会は変えられる!
2月22日	渋谷区立中幡小学校	東京都	41	オリパラ教育 国際理解 世界の問題・わたしにできること
2月25日	グローバルチャレンジプログラム	東京都	10	留学出発前研修
2月26日	横浜市立神奈川中学校	神奈川県	560	児童労働問題 アクションをみつけよう
3月15日	品川区立浜川中学校	東京都	120	世界の働く子ども達 わたしにできるアクション
3月16日	横浜市立横浜 サイエンスフロンティア高等学校	神奈川県	18	児童労働問題 アクションを考えよう
4月22日	グローバルチャレンジプログラム	東京都	4	留学帰国後研修 経験をアクションに活かそう
4月25日	浦和大学	埼玉県	35	世界の教育格差とODA 子どもが起こすアクション
4月26日	東京都立大泉桜高等学校	東京都	117	世界の働く子ども達 高校生にできるアクションとは
4月26日	東洋大学	東京都	44	世界の教育格差とODA 子どもが起こすアクション
4月8日	日本子どもNPOセンター	東京都	15	児童労働問題
5月12日	横浜市立平楽中学校	神奈川県	27	世界の働く子ども達 いま私にできること
5月12日	大阪女学院大学	大阪府	120	世界の子どもの状況と 私たちができること
5月20日	日本子どもNPOセンター	東京都	22	児童労働問題 子どものアクション
5月22日	西宮市教育委員会	兵庫県	31	児童労働を強いられる 世界の子ともと日本にいる私たち
6月1日	ぐんま国際アカデミー 中等部・高等部	群馬県	25	団体活動紹介
6月7日	横浜市立大綱中学校	神奈川県	900	世界の子とも達 ワクワクアクションを見つけよう!
6月11日	大阪YMCA国際専門学校	大阪府	35	世界の子どもの状況と 私たちができること
6月20日	神戸女学院大学	兵庫県	80	NPO論・団体活動紹介
6月21日	神戸女学院大学	兵庫県	16	世界の貧困の中で暮らす働く子ども 大学生の私にできること
6月24日	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 世界一大きな授業	東京都	40	世界の教育の現状とODA タンザニアの教育

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	講演テーマ内容
6月25日	國學院大學久我山中学校	東京都	130	世界の働く子どもたち タンザニアの現状/私たちにできること
6月25日	拓殖大学	東京都	100	NPO論
6月26日	田園調布雙葉高等学校	東京都	107	世界の子どもたち/タンザニアの教育 私たちにできること
6月27日	明星学園中学校	東京都	120	世界の子どもたち/タンザニアの教育 私たちにできること
6月28日	明治学院高等学校 FTC部	東京都	10	タンザニアマサイ族の生活と教育
6月30日	町田市立真光寺中学校	東京都	25	世界地図から社会問題を考えよう 私にできるアクション
7月2日	横浜雙葉高等学校	神奈川県	40	団体紹介 高校生にできるアクション
7月16日	中央大学	東京都	15	世界の働く子ども達 子ども・若者のアクション
7月21日	「世界食料デー」月間2018 ・横浜市資源循環局	神奈川県	20	「中高生のための食料フォーラム」 食糧問題・私にできるアクション
7月28日	AIECEC 上智大学・慶應大学	東京都	14	ファシリテーション ・コミュニケーション基礎
7月30日	世田谷区国際課 姉妹都市中学生派遣事業	東京都	20	グローバル人材に向けて 社会問題を考える
7月31日	世田谷区国際課 姉妹都市中学生派遣事業	東京都	20	グローバル人材に向けて 自分自身を見つめ直す
7月31日	国際協力NGOセンター	東京都	70	誰一人取り残さない社会を つくるための組織・働き方改革
8月1日	大阪YMCA国際専門学校	大阪府	20	児童労働問題 私たちができること
8月21日	世田谷区国際課 姉妹都市中学生派遣事業	東京都	20	グローバル人材に向けて アクションを考える
8月22日	風に立つライオン基金 高校生ボランティア・アワード	埼玉県	500	団体紹介・子どもが世界を変える
8月26日	FTCJ / FAO駐日連絡事務所	神奈川県	14	「ゼロ・ハンガー ユースフォーラム」 食糧問題・私にできるアクション
9月1日	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都	25	フィリピン障害者リーダーから学ぶ 共生社会
9月5日	世田谷区教育委員会 姉妹都市小学生派遣事業	東京都	37	地図を作って世界の問題を 見つけよう私にできることって 何だろう?
9月6日	青森県立三戸高等学校	青森県	44	世界の貧困問題 高校生の私たちにできること
9月9日	グローバルチャレンジプログラム	東京都	20	留学帰国後研修
9月10日	子ども専門家アカデミー世田谷	東京都	15	「世界は変えられる」子どもが そう信じられる社会のために
9月12日	鳥取城北高等学校	鳥取県	139	子どもの権利と 高校生のわたしにできること
9月16日	中高生向けグローバルセミナー	東京都	12	10代の今だからこそ 世界に出かける意味とは?
9月18日	日本ファンドレイジング協会	東京都	10	社会貢献教育ファシリテーター スキルアップ研修
9月24日	中高生向けグローバルセミナー	東京都	20	10代の今だからこそ 世界に出かける意味とは?
9月28日	公文国際学園 高等部	神奈川県	50	難民問題 私たちにできること
10月3日	アレセア湘南高等学校	神奈川県	276	児童労働問題 高校生の今にできること
10月4日	野田市立山崎小学校	千葉県	66	SDGsと世界の貧困や問題 私にできるアクションを見つけよう
10月5日	西宮市立南甲子園小学校 PTA	兵庫県	500	世界の子どもたちの現状と 私たちにできること
10月9日	工学院大学附属高等学校	東京都	76	世界の貧困問題
10月11日	上智大学	東京都	150	権利行使の主体から考える 子どもの権利条約

日時	講演先(学校・企業・団体名)	実施場所	受益対象者の 範囲及び人数	講演テーマ内容
10月12日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	世界の貧困問題
10月12日	「世界食料デー」月間2018	東京都	60	WORLD FOOD NIGHT2018 食糧問題
10月16日	工学院大学附属高等学校	東京都	76	団体活動紹介
10月16日	日本ファンドレイジング協会	東京都	15	社会貢献教育ファシリテーター スキルアップ研修
10月19日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	団体活動紹介
10月27日	市原中央高等学校 インターアクト部	千葉県	20	チームビルディング 自分の見つめ直し・ コミュニケーション
10月29日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	世界の貧困問題
10月29日	青森県立野辺地西高等学校	青森県	77	世界の貧困と働く子ども達 わたしにできるアクション
11月5日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	団体活動紹介
11月6日	工学院大学附属高等学校	東京都	76	団体活動紹介
11月8日	東京都立大泉桜高等学校	東京都	120	世界の働く子ども達 高校生にできるアクションとは
11月9日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	団体活動紹介
11月10日	世田谷区立桜丘中学校	東京都	151	児童労働問題 今できるアクションを見つけよう
11月10日	「世界食料デー」月間2018 ・横浜市資源循環局	神奈川県	400	私たちの食とSDGs
11月15日	滋賀県立草津東高等学校	滋賀県	350	世界の子ども達の状況と 高校生にできること
11月15日	世田谷区国際課	東京都	35	「せたがや国際メッセ2018」 世界地図をみんなで作ろう!
11月19日	工学院大学附属高等学校	東京都	38	団体活動紹介
11月22日	川崎市立橘高等学校	神奈川県	120	世界の子ども達の状況 国際支援のキャリアのために 「世界こどもの日特別セミナー」 子どもの権利条約を考える
11月24日	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	東京都	6	子どもの権利条約を考える
11月29日	横浜市長今宿中学校	神奈川県	500	世界の貧困と働く子ども達 中学生が実践しているアクション
12月1日	グローバルチャレンジプログラム	東京都	7	留学出発前研修
12月3日	拓殖大学	東京都	150	NPO論
12月4日	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫県	30	子どもの権利条約を理解する
12月6日	明治学院大学	東京都	90	児童労働問題 今私たちにできること
12月6日	神戸市立桜が丘中学校	兵庫県	115	世界の貧困問題 アクションを考える
12月8日	五井平和財団 ESD日本ユース 「ユネスコスクール全国大会」分 科会	東京都	40	アクションを起こす子ども達 ESD実践報告
12月11日	ノートルダム女学院高等学校	京都府	20	フィリピンの現状と児童労働
12月11日	フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 日本財団	東京都	45	「WE Day」を学ぶ!
12月12日	佐倉市立井野中学校	千葉県	8	子どもの権利と児童労働
12月15日	滝中学校・高等学校	愛知県	15	児童労働問題・差別を考える わたしにできるアクション
12月18日	佐倉市立井野小学校	千葉県	14	子どもの権利と児童労働
12月18日	カリタス女子高等学校	神奈川県	70	共生社会 私たちにできること

12月19日	カリタス女子高等学校	神奈川県	110	共生社会 私たちにできること	
12月13日	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫県	30	子どもの権利条約を理解する	
12月20日	大阪府立佐野高等学校	大阪府	80	世界の子ども状況と 高校生にできること	
10回	グローバルチャレンジプログラム	東京都・大阪府 神奈川県・埼玉 県	150	団体活動紹介	事業費 (千円)
8回	ファシリテーター養成講座	東京都	37	世界の子ども状況と 高校生にできること	5135

■事務所訪問対応

日時	内容	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	講演テーマ内容	事業費 (千円)
24回	事務所訪問対応	FTCJ オフィス	80人	月2回のボランティアデーや 事務所訪問の対応	1451

2) ニュースレター・メルマガ発行、団体ホームページ更新作成、資料教材開発・出版、物販活動

活動名	活動内容	実施 日時	実施 場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
ニュース レター・ アニュアル レポート発 行	2017年度アニュアルレポート NL 44号特集: フィリピン障害者支 援事業レポート NL 45号特集: フィリピンスタディー ツアーレポート NL 46号特集: WEオリジナルプロ グラムレポート	3月 3月 7月 12月	東京 事務所	各号600部 印刷	525
メルマガ 発行	月に2回発行	通年	東京 事務所	国内外の人々 約5,000人	231
ホームペー ジ 更新・作成	webサイト随時更新: 1日平均620 人程度アクセスあり。 ニュース・レポート: 1日平均232人 程度アクセスあり	通年	東京 事務所	国内外の人々	375
資料開発・ 出版	団体パンフレットの改訂、学校・教員 向け冊子の改定、ワークショップ教材 の改訂、作成。	通年	東京 事務所	子ども、学校、一般	1014
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、 それに関する資料作成と仕入れ、販 売など。	通年	東京 事務所	子ども、一般	1088

5) 海外自立支援事業・緊急支援事業

◆事業の目的と役割・活動内容目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている開発途上国の子ども(特に、支援地域のフィリピン、インド、ケニアなど)の権利が守られ教育を受けられ自立できるよう支援する。

内容: フィリピン、インド、ケニアなどの開発途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう包括的な支援事業を実施する。

<フィリピン支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
先住民族の子どもへの教育支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金とその他寄付、助成金を使い、ミンダナオ島の台風被害にあった先住民族ビナンジャン村に暮らす中等教育を受ける年齢の子どもたちを対象にした教育支援を実施。これまで支援してきた子どもたちが中等教育を修了することから、支援終了次年度から別の地域を対象とする予定。	通年	フィリピン	4人	180
性虐待や刑務所から救出された子ども教育支援	指定寄付やフェアトレード商品の収益によって、フィリピン・ルソン島サンパレス州オロンガポに位置する現地パートナー団体ブレダ基金を通して、性的虐待・搾取を受けた少女や、路上や刑務所から救出された少年への教育、貧困地域への水や農業面における自立支援活動の実施。	通年	フィリピン	子ども約200人	140
障害者支援事業	パサイ市の国立盲学校の寮修繕により寮が完成し竣工式を開催した。また、視覚障害者の高校生5人をフィリピンから招へいし、約3週間日本で共生社会推進のための活動家として育成研修を実施し、その後のフォローアップを行った。	通年	フィリピン	フィリピン国立盲学校生徒150人及びナガ市高校生1人	1,854

<インド支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
西ベンガル州 CCDマクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金やその他指定寄付を使って、現地パートナー団体CCDを通じて、路上や児童労働などから救出され施設で生活する子どもと貧困家庭で暮らす子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう事業を実施。具体的には支援対象者の子どもが学校に通うために必要な教育費(制服や教材文房具、ワークショップ教材費)や、食費の提供、健康医療支援プログラムのために支援金を活用した。また、施設では美術や体育などの情操教育を通じ、より豊かな心身の発達を育んでいる。	通年	インド	マクタニール擁護施設で生活する22人の子ども 貧困家庭の子ども10人	180
西ベンガル州 ハロア開発地区子ども若者自立支援事業	西ベンガル州ハロア開発地区に暮らす貧困家庭の子どもや若者に対して、自立できるよう収入向上のための職業訓練セミナーを提供し、自立できるよう支援。また、虐待や児童婚などの課題から子どもを守るために、子どもの権利を伝える子ども若者グループを育成し、地域の子どものおとなが権利についての知識を得られるようアドボカシー活動を実施。	通年	インド	西ベンガル州ハロア開発地区の子ども若者約200人	1,869
ラジャスタン州 貧困農村地域自立支援事業	ラジャスタン州ラジサマンド地方農村地域では、降雨量が少なく半乾燥地帯のため、またインフラ整備も進んでいないため、農作物の収穫が伸びず、村人は現金収入が少なく貧困から脱却が難しい状況にある。そこで現地パートナーWE Charityを通じて人々が貧困から抜け出し自立できるよう5つの柱(教育、水、保健衛生、生計維持、食糧農業)をたてて包括的に支援。	通年	インド	カルタナ村及びベルダラ村の人々 2,540人	73

【活動ご協力】◆活動費助成協力: 大阪コミュニティ財団(ハロア開発地区子ども若者自立支援事業)

◆寄付協力: 桃山学院高校SBS、株式会社チヨダ

<ケニア支援事業>

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
ケニア深井戸建設及び給水システム確立事業	支援対象地のエシノニ村には井戸がないために子どもや女性たち村人は1日に何時間も費やし、15キロ離れたところまで水汲みに行かなければならない。また、半乾燥地帯の当該村は乾季に水不足に陥りやすい。そこで、エシノニ村に暮らす1200人の村人がきれいな水にアクセスできるよう、深井戸の新規建設及び給水所を村内に設置し、今後、給水所を村人によって持続的に運営管理できるよう、村人の人材育成、研修を行った。	通年	ケニアナロック群南ナロック県エシノニ村	ケニアナロック群南ナロック県エシノニ村約1200人	2,471

3.管理などその他この法人の目的を達成するために必要な事業に関する報告

管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	25	180
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講	通年	東京	4	78
個人情報管理	セールスフォース構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京	4	1115
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出前授業、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー334人、ユースメンバー1,010人、ボランティアメンバー登録90人)	通年	東京	4	460
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	2172
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	160
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	東京	5	100

【活動のご協力】

◆助成協力：東京都(東京都正規雇用転換促進助成金)

【事務局体制、役割報告】

原元望：事務局長
 河本千夏：アドボカシー事業リーダー
 板倉香子：会計・総務
 伊藤菜々美：WE movemen事業部マネージャー
 子ども活動応援事業リーダー、スピーカー・ファシリテーター
 福井雄一：子ども活動応援事業リーダー
 スピーカー・ファシリテーター
 清田健介：翻訳チーム、広報
 浅田紀子：関西での活動

【理事兼任】

中島早苗：海外自立支援事業・組織運営全般
 出野恵子：子ども活動応援事業
 伴野保志：個人情報管理システム構築
 藤井裕子：関西での活動

【インターンご紹介】

2018年度は下記のインターンのみなさんが活動を支え担当の事業を担いました。(敬称略・順不同)
 清宮小百合：世界一大きな授業、テイク・アクション・キャンプ
 堀 竜樹：映像編集

メディア掲載一覧 2018年1月～12月にメディア等などで配信・紹介された活動です。

時期	メディア配信・媒体名	内容
通年	中学生公民教科書	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレスントピックとして掲載されています。
通年	英語教科書 ONE WORLD	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレスントピックとして掲載されています。
2018/1/18	佼成新聞DIGITAL	NGO組織強化大賞 部門賞受賞について掲載されました。
2018/1/20	大阪日日新聞	阪急百貨店でのイベントの様子が取り上げられました。
2018/1/23	まにら新聞	盲学校の寮の引き渡し式の様子が掲載されました。
2018/2/3	NTT労組(新聞)	アルゼンチン世界会議に参加した伊藤のインタビューが掲載されました。
2018/2/1	a-yus	アユスNGO大賞 新人賞を受賞した河本についてが掲載されました。
2018/2/9	読売中高生新聞	チョコレートプロジェクトの取り組みが取り上げられました。
2018/2/18	佼成新聞DIGITAL	NGO組織強化大賞 授賞式の様子が掲載されました。
2018/3/1	国際開発ジャーナル	組織強化大賞 部門賞受賞について取り上げられました。
2018/3/1	児童労働、NGO/NPOのチャレンジ JCNCブックレット発信するチカラ	中島が執筆した記事が掲載されました。
2018/3/8	点字毎日	盲学校の寮の引き渡し式の様子が掲載されました。
2018/4/23	東京新聞	チョコレートプロジェクトの取り組みが取り上げられました。
	東洋英和女学院大学大学院のWEBサイト	アユスNGO大賞 新人賞を受賞した河本が掲載されました。
2018/6/15	東京新聞	チョコプロについて取り上げられました。
2018/6/21	財経新聞	タンザニアのマサイ族の少年と実施したイベント・出前授業について掲載されました。
2018/6/21	産経ニュース	タンザニアのマサイ族の少年と実施したイベント・出前授業について掲載されました。
2018/6/21	Cubeニュース	タンザニアのマサイ族の少年と実施したイベント・出前授業について掲載されました。
2018/6/25	開発教育協会(DEAR)会報誌	テイク・アクション・キャンプを実践事例としてキャンプの内容、参加者の感想、実践者としてのコメントを写真とともに掲載いただきました。
2018/10/3	ニコニコニュース	子どもの権利条約教材について取り上げられました。
2018/10/26	朝日新聞	子どもメンバーの子ども権利条約を母子手帳に掲載するための活動が取り上げられました。
2018/11/16	東京新聞	子どもメンバーの子ども権利条約を母子手帳に掲載するための活動が取り上げられました。
2018/11/26	世界の社会福祉年鑑2018 <2019年度版> 18集	代表理事・中島早苗による団体の取り組みや子ども・若者の活動の原稿が掲載されました。
—	TOTO株式会社機関紙	ケニアでの水支援の様子が掲載されました。
2018/12-	TV 9件、新聞 21件、雑誌 2件、WEB 496件	特別協力のイベント「東京グレートサンタラン」について掲載されました。
2018/12-	株式会社三井住友フィナンシャルグループ環境情報誌JUNIOR SAFE 第4号 (2019年版)	団体設立経緯や活動について掲載されました。